

◆ 同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 特別任用教授

阿南 節子 (あなみ せつこ)

○ 略歴：

- ・ 1973年 近畿大学薬学部 卒業
- ・ 2002年 武庫川女子大学大学院 薬学研究科 修士課程修了

- ・ 1973年 市立堺病院薬剤部
- ・ 1993年 市立堺病院薬剤部主幹
- ・ 2000年 市立堺病院薬剤科参事
- ・ 2002年 市立堺病院薬剤科科長
- ・ 2006年 市立堺病院薬剤科部長
- ・ 2007年 市立堺病院薬剤・技術部部長
- ・ 2010年4月～ 同志社女子大学特別任用教授

○ 学位：修士（薬学）

○ 専門分野：がんの副作用対策、感染制御専門分野

○ 講演題目： 薬がちゃんと効くために正しく付き合うには？

○ 講演概要： わが国では医薬品として使用される薬の成分は約 2000 種類あります。またこれら 2000 種類の成分をもとに製造される医薬品数は 1 万 8000 種類にのびります。医薬品市場調査会社がまとめた市場統計によると、2009 年の医療用医薬品の売上金額は前年比 7.2%の 8 兆 8516 億円となりました。医薬品市場は今後も増加傾向が予想されています。

私たちの周りには多くの医薬品がありますが、それぞれきちんと効果を発揮し、安全に使用するためには、ちょっとした‘コツ’が必要です。

近年の健康志向からインターネットや雑誌、テレビなどでたくさんの薬の情報が提供されますが、情報がありすぎて迷うこともあります。例えば、薬を飲むときは牛乳で飲んでもいいの？など、今回は薬を有効で安全に使用するために知っておくべき‘コツ’をお話いたします。